

看護

にいがた

公益社団法人
新潟県看護協会機関誌

2024 Vol.159

8月20日発行

新潟県看護協会会員数

- 保健師…………… 787名
- 助産師…………… 561名
- 看護師…………… 13,449名
- 准看護師…………… 388名
- 会員総数…………… 15,185名

〈令和6年7月現在〉

新連載 P10 **おらって**
職場自慢 ・ **かんごちゃん** Q
が教えてくれる & A



Contents

- 02 会長あいさつ / 「お知らせ」学会委員会より
- 03 令和6年度 看護協会役員・職員の紹介
- 04 新潟県看護協会通常総会
- 05 令和6年 県知事表彰・県協会長表彰 / 春の叙勲受章
- 06 市民フォーラム / 中学生看護出前授業
- 07 つながる・ひろがる・たかめる専門性の高い看護
- 08 令和6年能登半島地震被災地への支援
- 09 2023年度訪問看護実態調査の結果より
- 10 おらって職場自慢
- 11 看護協会からのお知らせ
新潟県ナースセンターからのお知らせ
- 12 ナースシップよりお知らせ / かんごちゃんが教えてくれる Q&A

会長挨拶



公益社団法人新潟県看護協会
会長 池田 良美

残暑の候、厳しい日差しにも庭の向日葵は元気に咲誇っています。

日頃より、新潟県看護協会の活動にご理解、ご協力賜り誠にありがとうございます。

令和6年度通常総会、その後の理事会におきまして、1期2年の協会の舵取りをお任せいただきました。身の引き締まる思いでいっぱいです。

昨年までの新型コロナウイルス感染症、また今年1月1日の能登半島地震、その後の余震や記憶に新しい6月3日早朝の地震など予測不能な事態が続いております。そのような中で、新型コロナウイルス感染症の最前線でケアを実践してくださった皆様、地震の被災県でありながら震源地近くで災害支援に携わってくださいました災害支援ナースの皆様、また被災に遭われ生活もままならない中で業務に従事されている皆様に心から敬意を表します。

さて、今通常総会では令和6年度の重点目標・重点事業をご説明し、ご理解をいただきました。昨年からの3か年計画の2年目の事業となります。同時に新潟県においても今年度からの第8次保健医療計画、第9期高齢者保健福祉計画が策定されました。あらゆる健康課題を抱えた住民の方々が住み慣れた場所で安全に安心して暮らせるように、地域の課題に即して取組んで参ります。

また、新興感染症の流行や災害で、社会の価値観やシステム等が大きく変化しました。令和6年度から2年間を目途として、有識者の皆様と新潟県看護協会活

動のあり方検討会を実施します。協会の事業を始め、研修センターの今後についても検討を進めて参ります。その前段として第五号議案におきまして研修センターの建替え等のための維持管理等負担金の令和7年度からの徴収につきましてもご承認いただきました。会員の皆様にはご負担を強いることとなりますが、何卒ご理解の程をお願い申し上げます。

昨年10月に、保健・医療・福祉に従事する看護職に対して、「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針の改定」が成されました。病院等に勤務する看護師等の処遇改善、研修等による看護師等の資質の向上、看護師等の就業の促進、その他看護師等(看護職員)の確保の促進に関する重要事項等が示されました。国や県などの行政、看護団体、病院など就業場所の管理者等、そして個人でも取組むことが盛り込まれており、看護職が一丸となって基本指針を活用していく必要があります。

新潟県看護協会は2040年を見据え、地域包括システムのさらなる推進及び持続可能で質の高い看護提供体制の整備に向け、皆様と連携し確実に取組んで参ります。

今後とも皆様のご協力ご支援を切にお願い申し上げます。

学会委員会より “お知らせ”

2024年度新潟県看護協会看護学会の学会長は、6月12日の通常総会において会長の斎藤有子の退任に伴い、新会長の池田良美に交代しました。

令和6年度 看護協会役員・職員の紹介



看護協会役員

後列左から 青柳常務理事 清水専務理事 菅井常務理事 青木常務理事
前列左から 渡邊副会長 鈴木副会長

清水専務理事及び菅井常務理事が新しく就任し、令和6年度の体制がスタートしました。

災害や新興感染症や少子化等目まぐるしく変化する社会状況のなかで県民のニーズを見極め応えるために看護職の皆様が今以上に輝き、自信と誇りをもって安心して働き続けることができるよう、協会活動の更なる充実に努めてまいりますので宜しくお願いします。

総務課

後列左から 上田 落合事務局長
前列左から 倉島 高橋 安達

4月から倉島主事がナースセンター課から異動してきました。事務局長を含めて5名の職員で業務を行っています。総会や理事会等の開催準備、予算・決算のとりまとめ、協会への入会案内や手続きに関すること、看護研修センターの維持管理などを担当しています。協会全体の運営がスムーズに行えるよう努めてまいります。



教育研修課

左から 渡辺(裕) 立川 関根 岡田 三本

教育研修、認定看護管理者教育研修、臨地実習指導者養成講習会の企画・運営を行っています。日本看護協会「看護師のまなびサポートブック」では、これからの時代の求められる看護師は①対象となる人々の多様なニーズに対応して看護を創造・提供できる②様々な職種・関係者と協働しながら、自律的に判断し実践できる③活躍し続けるためのキャリア形成の仕方や働き方を自分で選択できるとあります。看護師職が経験や学びを積み重ねていくことは、自己の成長と活躍に繋がります。これからも生涯学習への支援に関わっていきたいと思います。

訪問看護推進課・訪問看護総合支援センター

左から 小野 今出 阿部

訪問看護総合支援センターを設置して2年が経過しました。質の高い訪問看護サービス提供体制の安定化および推進を図ることを目的に、訪問看護ステーションや関係団体と連携しながら一元的一体的な取り組みができるよう努めています。訪問看護関連研修会の企画運営、訪問看護師育成体制整備支援、訪問看護の周知活動、県民の方も対象にした相談事業など幅広い事業を実施しています。



4月より、南魚沼相談窓口の担当が、西潟に代わりました。よろしくお願いします。

新潟県ナースセンター



ナースセンター課

上 西潟 紀美江
左から 渡邊(典) 伊藤 高橋(恒) 石田 塚田

ナースセンターは、生涯を通して、看護職としてのキャリアを積み、働き続けていけるようご支援するところです。看護職の「無料職業紹介事業(ナースバンク事業)」、「再就職支援事業」を中心に、「就業先をお探しの方、転職・進学をお考えの方、仕事の悩みを聞いてほしい方など、新卒から定年前後のプラチナナースの方々まで、会員・非会員問わず、ご利用いただけます。看護職の相談員が親身に対応いたしますので、お近くのナースセンターにお声がけ下さい。

令和6年度 新潟県看護協会通常総会

令和6年6月12日(水)新潟グランドホテルにて、通常総会が開催されました。

昨年までは新型コロナウイルスの対策で参加の制限を行っていましたが、今年度から制限がなくなり〇〇名の参加で行われました。

令和5年度の事業報告、決算報告、令和6年度役員等の改選が行われ、看護研修センター建替えのための維持管理等負担金の徴収について質疑の上、全て議決されました。

令和5年度から3カ年で行われている新潟県看護協会の重点目標は下記の通りです。

重点目標

- ① 地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携
- ② 地域の健康危機管理体制の構築
- ③ 看護職が働き続けられる勤務環境作りの推進
- ④ 看護施策を推進するための持続可能な基盤強化



斎藤会長の挨拶



退任役員代表あいさつ



採決の様子

令和6年度
看護業務功労者新潟県知事表彰
受賞者



定方 美恵子様 新潟薬科大学



上倉 由美子様 津南町役場



瀧澤 章子様 津南町役場



石井 恭子様 佐渡市役所



望月 結花様 佐渡総合病院

令和6年度
優良看護職員新潟県看護協会会長表彰者
受賞者 192名

代表者 島川 夏代様



令和6年 春の叙勲受章おめでとうございます。

長年のご活躍に敬意を表し、心よおりお祝い申し上げます。

瑞宝双光章 受章



杉田 洋子氏 [元新潟大学医歯学総合病院看護部長]

令和6年度 看護の日事業

“看護の心をみんなの心に”

市民公開フォーラム

●2024年5月11日(土) ●新潟グランドホテル

看護の日事業委員会 中央区役所健康福祉課 今井 宏美
5月11日、看護の日事業として「看護の心をみんなの心に～人は助け合い、支えられて、今を生きている～」をテーマに、市民公開フォーラムを開催いたしました。

病院看護師、一般市民、看護師体験参加の高校生、計6名による「看護の心にふれた体験談発表会」の他、今年は骨密度・血管年齢測定や健康相談を取り入れ、「看護の心」を映し出した写真展も設け、市民の方も来場しやすい雰囲気づくりをしました。

また、「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～」をテーマに、腰塚勇人さんからスキー事故から奇跡的に社会復帰をした経験から、人生観や命の大切さ、支えてくれた人々への感謝を力強くご講演いただきました。

来年はより多くの方々に参加してもらえるよう、「看護」をテーマにしたイベントを実施していきたいと思います。



〈腰塚勇人先生の講演の様子〉



一日看護師体験をされた4人の高校生と“かんどちゃん”



プチ看護師体験でナース着を着て撮影している様子



中学生看護出前授業

●2024年5月14日(火) ●村上市総合文化会館



モデルの赤ちゃんを抱いている様子



研修の様子

新潟県看護協会では、「看護の日・看護週間」事業の一環として「看護の出前授業」を実施しています。今年度は村上市と関川村の計5校の中学3年生約250人が参加し、村上市総合文化会館で5月14日に開催されました。始めに、村上看護専門学校の教員の方より学校での学びについての説明がありました。次に地元で働く助産師、保健師、訪問看護師の方から仕事の内容、命の大切さの講義がありました。日常の業務や患者様とのエピソードを共有し生徒たちにリアルなイメージが伝わったと思います。次に演習として、酸素飽和度の測定、赤ちゃん人形で抱っこ体験、家にある日用品を工夫しての清潔ケア体験が行われました。出前授業を通じて中学生に看護職への理解を深めてもらい、職業選択の一つになってほしいと思います。

新潟大学大学院保健学研究科 2022年度 感染管理認定看護師教育課程(B課程)を受講して…



兼任の感染管理認定看護師としての役割と今後の展望

村上総合病院(村上市) 感染管理認定看護師
阿部 絵真理

2022年度新潟大学で感染管理認定看護師教育課程を受講し、現在JA新潟厚生連村上総合病院で兼任の感染管理認定看護師として活動しております。これまで感染分野に苦手意識がありましたが、看護部感染委員会に属する機会を得られ、徐々に興味へと変わっていきました。そのような時期に看護部長より感染管理認定看護師教育課程受講のお話を頂き、自分に出来るのか不安もありましたが、院内のみならず地域全体の感染対策を担うことに使命を感じ、キャリアアップするため1期生として入講しました。新潟県内での1年間の研修は、病院スタッフや家族のサポートを受け、心のゆとりをもって通学することができました。なにより、同じ志を持つ同期の仲間が新潟県内の病院にいることは、大変心強いと感じています。

現在、私は兼任の感染管理認定看護師として活動をさせていただいています。兼任である強みを活かして、現場レベルでの感染対策の問題点をスタッフと一緒に解決していくことや、自らがモデルナースとして働くことでスタッフに感染対策を促す役割であると考えています。臨床で感染対策を実践できる仲間を増やすため、看護部感染対策委員への勉強会や、サーベイランス活動もしています。またB課程で修了した特定行為を活用し、患者の身体所見から臨床推論力と病態判断力で、感染徴候がある患者に対して薬剤の臨時投与ができる知識・技術を自己研鑽していくことや、抗菌薬の適正使用のための実践活動をしていきたいと考えています。今は、感染管理認定看護師として院内活動の地盤作りを行います。患者様の療養環境を整え、安心安全で質の高い看護が提供できるように努力していきます。

今後は、地域や保健福祉施設との感染対策の連携についても携われるようになりたいです。また在宅医療での感染予防・管理など地域に貢献できるよう、必要とされる感染管理の在り方も考えていきたいです。

村上総合病院施設データ(令和6年4月現在)

- ①病床数: 264床
- ②専門看護師数: 0名
- ③認定看護師数: 6名
- ④特定行為研修修了者数: 4名



看護師としての次のステージへ

新潟臨港病院(新潟市) 感染管理認定看護師
小川 陽市

私の看護師としてのスタートは外来で、主に内視鏡室業務を中心に勤務して10年が経過し、今後の看護師人生について考え始めた頃、感染管理認定看護師教育課程が新潟で開講されるということで看護部長に受講を勧められました。看護師としての専門性を考えた時に、認定看護師になるというのは一つの選択肢として以前からありました。自分の専門分野と考えている内視鏡看護は日本看護協会の認定分野にないので、内視鏡室で経験してきたことが、どの認定分野に近いかと考えた時に、感染管理認定看護師はそれにあたるのではないかと思いました。感染管理認定看護師取得後、自施設に戻った際には専従として勤務することになるため思い悩みましたが、教育課程の受講を決めました。これまでの人生



微生物学の実習



フィットテスト全体写真

で、人に勧められてやってみたら初めは乗り気ではなかったけれど結果的には良かったということが人生の節目ごとであり、今回もそうかもしれないと思ったことが受講のきっかけとなりました。また、地元新潟での開講ということで家族の

理解が得られたことも受講の後押しとなりました。

教育課程ではグループワークが多く、一人では難しい問題もグループの中で意見を出し合って考えていくことで答えを導くことができ、理解を深めることができ楽しい学びとなりました。そして共に学び合う過程の中で仲間意識が芽生え、教育課程を修了して自施設に戻ってからも、院内での活動で悩んだ時に気軽に相談したり、同じ県内にいることから同期の活躍を伺い知る機会があって励みになったりと、同期の存在は大きな支えになっています。一定の現場経験を経てからの学び直しは、知識と経験が結びついてより深い学びになり、同じ志を持つ仲間が得られる貴重な体験になると思います。これから認定看護師になることを考えている人には、ぜひ一步を踏み出してもらいたいと思います。

新潟臨港病院施設データ

- ①病床数: 196床
- ②専門看護師数: 0名
- ③認定看護師数: 5名
- ④特定行為研修修了者数: 2名

新潟県看護協会における 令和6年能登半島地震被災地への災害支援ナースの派遣

新潟県看護協会 常務理事 青柳 玲子

令和6年1月1日、能登半島地震が発生し、新潟県内においても多くの被害を受けましたが、石川県内では甚大な被害を受けられました。被災された皆様におかれましては心からお見舞い申し上げます。

本会では日本看護協会の派遣依頼に基づき、災害支援ナースの所属施設のご協力をいただき、1月11日から2月11日の期間に、13施設から16名、延べ64人の災害支援ナースが、石川県珠洲市正院小学校（避難所）と金沢市い

しかわスポーツセンター（1.5次避難所）において支援活動を行いました。派遣された皆様、所属施設の皆様、後方支援の皆様にご心から感謝申し上げます。今後は災害が発生しないことを祈りつつも、本会としても不測の事態に備え被災地での活動が円滑にできるよう、引き続き災害支援ナースの養成に努めます。多くの看護職の皆様より、災害支援ナース養成研修にご参加いただくようお願いいたします。

能登半島地震での災害支援ナース活動をとらえて

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟病院
新潟県看護協会健康危機対策委員長 石川 百恵

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、新潟県内でも多くの被害があり被災された方々にお見舞い申し上げます。

この度の地震で日本看護協会からの依頼に基づき、1月21日～24日の期間に、珠洲市立正院小学校の1次避難所に東京都支援ナースと計4名で支援活動を行ってきました。活動場所は、昼夜100人前後の避難者が在在し、PWJ（特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン）仮設診療所・医療支援の巡回地点でした。ライフラインは電気・燃料の供給はありましたが上下水道不通・施設の破損や避難所の裏でがけ崩れの発生・海岸から200Mの立地から避難者や支援者には肉体的、精神的にも影響がありました。避難者は、高齢者や単身世帯の方が多く避難所内の自助活動を行えていない印象を受けました。

この避難所での活動として、到着後からPWJの診療補助や避難所内の状況把握・活動計画立案のため情報収集を行い、避難所内には高齢者や精神疾患を含め持病のある方が多く在在しており、避難者の体調悪化などの早期発見に取り組み、病気治療中の方は治療中断しないよう健康観察を行いました。前任者の活動時にCOVID-19や胃腸炎の感染症者もいたことから並行して感染予防の啓発活動や環境整備も行いました。また要診療者のピックアップから診療へのつなぎや、地元で普段から行われていた「シルバーリハビリ体操」の活動開催調整も行いました。活動最終日には、新たなCOVID-19発生もあり、施設内でのゾーニング・スクリーニング検査も実施し、DPATや保健師チームと協

力して避難者の情報提供や他の避難所の情報共有を行い、4日間の支援活動を円滑に終わることができました。

災害支援ナースとは、「被災した看護職の心身の負担を軽減し、支えるように努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のこと」です。支援ナースの活動現場は、避難者自身や他の職種とも協力しながら支援活動や医療現場での支援活動を行います。昨年度から新潟県看護協会の災害支援ナース養成研修も感染症法、医療法の改正に則り、従来の災害支援ナース養成研修に加え新興感染症に対する研修も組み合わせた内容になり、今後様々な災害支援に対応できる支援ナースの養成に力を入れております。13年前の東日本大震災での活動では、難しかった「災害支援全体」の枠の中で活動を行えることで受援者の立場に寄り添った看護職として活動できるようになると考えています。

また、活動する災害支援ナースを送り出す所属施設の方々・ご家族のご協力がなければ支援ナースの活動は行えません。今回活動した延べ64名の災害支援ナース活動を支えていただいた方々に感謝しております。災害の発生は、いつどのような形で起こるかわかりませんが、災害支援ナースの専門的知識と技術は、日頃の業務にも活かすことができ、いつか受援者の立場でも役立つものです。他の災害支援ナースの活動報告書が看護協会のホームページから見られますので、ぜひ「災害支援ナース」の活動に興味を持っていただけたらと思います。



PWJ臨時診療所スタッフと正院小学校派遣チームメンバー



正院小学校の炊き出しボランティア（1日2回実施）

2023年度 訪問看護実態調査の結果より

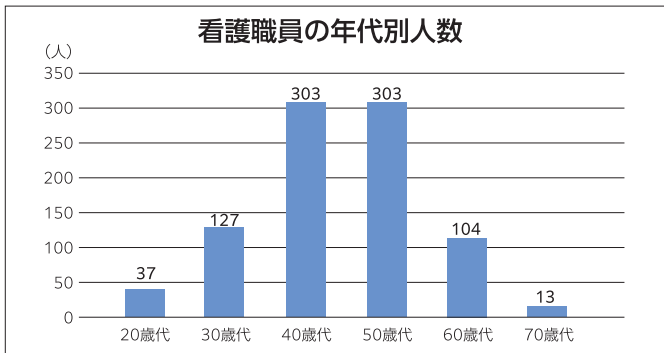
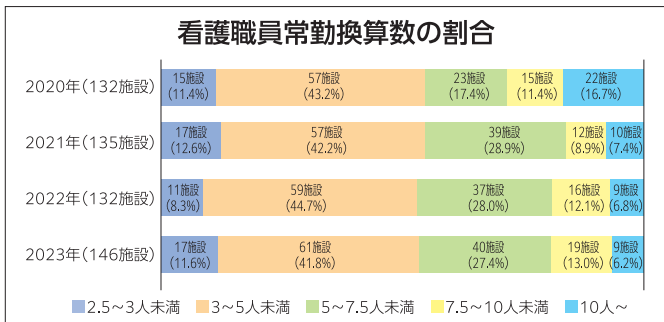
新潟県看護協会では、県の委託を受けて毎年、訪問看護実態調査を実施しています。

2023年度は、県内の全訪問看護ステーション(以下訪問看護STという)188施設を対象に、10月1日～11月12日に実施。回答は146施設(回収率77.7%)でした。その概要についてご紹介します。

訪問看護推進委員会 委員長 田澤 和枝

I 訪問看護ST数・施設規模・職員の状況など

調査対象の訪問看護STは、介護保険制度が開始された2000年度90施設、2008年度99施設、2018年度137施設、2023年度188施設(2000年度の約2倍)と増加しています。小規模(看護職員常勤換算5人未満)施設が53.4%を占めています。職員の年代は40歳代と50歳代が多く、退職者数は僅かに減少しているものの32.7%が入職1年以内に退職する状況が続いています。



II 訪問看護を行なう上での問題

訪問看護を行なう上での問題と感ずることとして「24時間体制によるストレス」「人員不足」「スタッフの能力差」等があげられています。職員定着の工夫として「家庭の事情に合わせた柔軟な勤務体制」「重症度の高い利用者への同行訪問等、負担軽減」「研修受講機会の確保」「ICT活用等による業務の効率化」等に多くの施設が取り組んでいます。

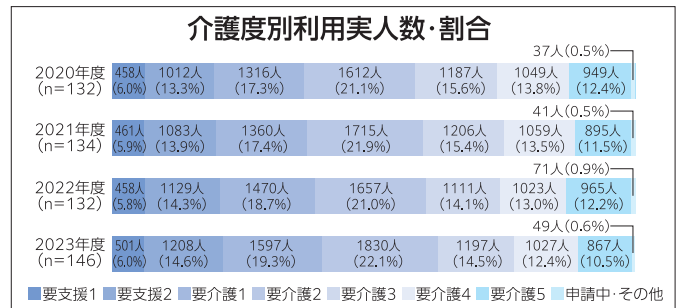
あり				なし		
自施設独自育成(教育)プログラム	法人の教育プログラム	その他	なし	業務多忙	その他	
103	61	41	16	43	25	19

III 訪問看護STの収支状況

「黒字」の施設は46.2%から38.8%に減少、「赤字」が29.5%から34.5%に増加しています。「収支均衡」15.1%、管理者が「収支を把握していない」11.5%です。大規模および中規模施設は「黒字」が多く、小規模施設は「赤字」が多い傾向がみられます。今後の運営の意向については「現状維持」が多く、次いで「拡大したい」でした。

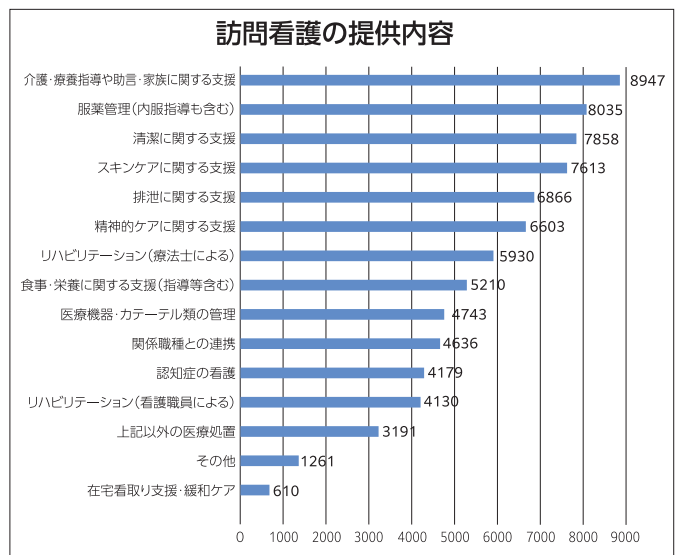
IV 利用者の介護度・年齢

介護保険では、要支援1・2、要介護1・2が62.0%を占めます。介護度が軽度のうちから訪問看護を利用し健康状態の維持、悪化予防が図られています。医療保険では幅広い年齢層にサービス提供しています。



V 提供しているケア

医療的ケアより、利用者家族への助言・療養上の世話が上位を占めます。薬剤師と連携した服薬管理、リハビリテーション(療法士・看護職員)も増加しています。



調査結果については、「新潟県受託事業 訪問看護実態調査報告書2023年度」にまとめ、報告会により情報共有するとともに関係機関の皆様にお送りしています。本会HPIにも掲載していますのでご覧ください。

調査の結果から、本県の訪問看護推進上の課題は、①訪問看護師の確保定着②訪問看護師の人材育成 ③訪問看護STの安定的な運営と事業の継続と考えます。学生・潜在看護師・プラチナナースも含めて訪問看護に関心を高めてもらい、入職者も含めた全職員がやりがいをもって働き続けられるよう訪問看護STの育成体制整備を支援していきます。また、訪問看護STが安定して運営継続し、訪問看護の質向上、在宅療養における役割発揮できるよう、訪問看護推進委員会、訪問看護総合支援センターは関係機関の皆様と連携して取り組んでまいります。

河渡病院は新潟市東区にある380床の単科精神科病院です。病棟は閉鎖病棟が5つ、開放病棟が2つあります。閉鎖病棟には統合失調症、双極性感情障害、うつ病、認知症、知的・発達障害等の患者、開放病棟には、アルコール依存症、退院を目指す慢性期の統合失調症の患者が入院しています。1971年からアルコール依存症治療に取り組み、新潟県からアルコール健康障害の依存症専門医療機関並びに依存症治療拠点機関の指定を受け、下地域でのアルコール依存症治療を行っています。

当院が専門的に行っているアルコール依存症について紹介いたします。対象は、長年お酒を飲み続けたために体をこわしたり、仕事や大切な人との信頼関係を失って、それでも自分の力ではお酒を断つことができない方です。主に断酒プログラム(ARP:Alcohol Rehabilitation Program)に沿って治療を行います。期間は通常3か月間、1か月目までは解毒期、2か月目までは断酒研修期、3か月目までは退院準備期で段階別に治療を行っています。表①は現在行っている治療プログラムです。月曜日から日曜日まで毎日プログラムがあり、「集団による力動」を用いた「集団精神療法」が中心です。GM(グループミーティング)では、同じ悩みを持つ患者が男女別に分かれ話し合います。看護師の性別もメンバーと同じにしています。

「アルコール依存症は男性に多い病気」と思われがちですが、最近の調査では女性のアルコール依存症の増加率が男性を上回っています。それは女性の体質的な特徴や女性を取り巻く社会環境の変化に伴うストレス等が原因とされています。入院期間中のGMでメンバー同士が共通点を認識し、同じ病気を持つ者同士の経験の分かち合いから回復を目指し支え合うことも可能になります。

研修は座学だけでなく、写真で示したような体力作りや陶芸もあります。体を動かしたり指先を使ったりして楽しみながらプログラムを行えるように工夫しています。プログラムには医師、看護師だけでなく作業療法士、薬剤師、栄養士、公認臨床心理師、精神保健福祉士などの多職種が関わり、依存症患者の回復を支援しています。

最後に、「あなたに癒しを…あなたとの心のふれあいを大切にします」、これが当院の理念です。

①精神科病院、②380床、③看護師118人、准看護師8人、看護助手28人の合計154人、④3交代(2024年4月現在)

表① 研修期・週間予定・治療プログラム

曜	日	月	火	水	木	金	土
午前		<ul style="list-style-type: none"> ●女性GM ●女性心理師 ●多職種カンファレンス 	<ul style="list-style-type: none"> ●酒歴小ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> ●体力作り 	<ul style="list-style-type: none"> ●男性GM 	<ul style="list-style-type: none"> ●退院前GM ●多職種カンファレンス 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己学習
午後	<ul style="list-style-type: none"> ●月例研修大会(第3日曜日) ●特別講演 ●酒歴発表会 ●ミーティング ●家族会 	<ul style="list-style-type: none"> ●GM ●男性GM 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体ミーティング ●酒歴発表 ●退院決意発表 	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ●陶芸 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> ●OBゼミ



入院患者様の体力作りの様子



入院患者様の作業療法の様子

おらっての職場自慢

してみませんか?

あなたの職場のPR、看護にいがたの紙面にのせてみませんか?

●お問い合わせ先▶ info@niigata-kangop.com

社会の変化

「継続教育の基準」から 「看護職の生涯学習ガイドライン」へ

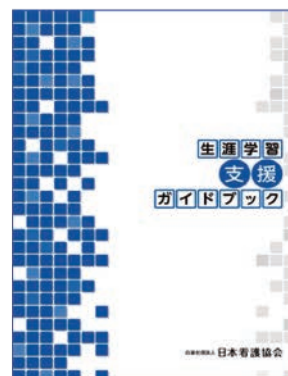
日本看護協会では、変化する社会において看護職の生涯にわたる学習活動を支えるため、「継続教育の基準 ver.2」に代わり、新たに「看護職の生涯学習ガイドライン」を策定しました。「看護師のまなびサポートブック」は、活躍する看護職一人ひとりの生涯学習の羅針盤です。2025年度より新潟県看護協会はこの取り組みに基づき研修を提供し、看護師として人生を歩みたいと思うすべてのあなたの「まなび(学び)」をサポートします。



看護職の生涯学習
ガイドライン



看護師の学び
サポートブック



生涯学習支援ガイドブック

日本看護協会ホームページよりダウンロードできます。

新潟県ナースセンターからのお知らせ



ナースセンターは、ハローワークと 連携して“施設訪問”に伺っています。

ナースセンターでは、ハローワーク担当者と連携し施設訪問を行っています。求職者の現状に関する情報提供や求人施設の強みを伺い、より分かり易い「求人票作成」のご案内をさせて頂いております。令和5年度は、病院4、福祉施設4、診療所2、計10施設に訪問し情報提供させていただきました。今後も、皆さまの施設のPRポイントを求職者の方々にお伝えし、看護職確保につなげていきます。

求人施設の皆さまへ

令和6年4月から労働者の募集時などに明示すべき労働条件が追加されました。追加の労働条件は、eナースセンターの求人票の記入欄にご記入下さい。



労働条件 明示追加事項	eナースセンター求人票の記入欄
1 従事すべき業務の変更の範囲(全ての労働者) *「雇入れ直後」の内容に加え、これからの「変更の範囲」についても明示が必要です。	「その他雇用上的特記事項」の欄
2 就業場所の変更の範囲(全ての労働者) *「雇入れ直後」の内容に加え、これからの「変更の範囲」についても明示が必要です。	「勤務先施設のPR、特記事項など」の欄
3 有期労働契約を更新する場合の基準 *締結と契約更新時に、「更新上限の有無と内容」の明示が必要です。更新上限を新設、短縮する場合は、その理由を予め有期契約労働者に説明することが必要になります。	「その他雇用上的特記事項」の欄

「看護補助者のしごと」 説明会を開催します。

10月～11月頃に、県内9カ所全10回を予定しています。
詳細は、新潟県看護協会ホームページをご確認ください。

会員登録(ナースシップ)よりお知らせ

登録内容に変更があった場合は、下記のいずれかの方法で届出をお願いします。

- ①キャリアナースから変更。
- ②会員データ変更届(新潟県看護協会HPよりダウンロード可)を新潟県看護協会へ郵送またはメール、FAX。
- ③所属変更により会費納入方法が口座振替になる方は、「都道府県看護協会・日本看護協会入会申込書/会員情報変更届」または「キャリアナース」より口座情報の登録をお願いします。

<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>

キャリアナース
URL



- 次年度の継続のお知らせは、9月のデータを基に作成されます。変更のある方は8月中旬に変更を完了してください。
- 例年、施設の寮を自宅住所としてご登録いただいた方の中で、退職等で寮を退居しても登録を変更されない方が多数いらっしゃいます。
- 大切なお知らせがお手元に届かない事がないよう、届出をお願いいたします。



かんごちゃん

が教えてくれる Q&A

3つの使命(ミッション)があるよ

- ①看護の質の向上
- ②看護職が働き続けられる環境づくり
- ③看護領域の開発



新潟県
かんごちゃん

Q 日本看護協会ってなあに？

A 私たち看護協会は看護職の活動を支援する会員数76万人国内最大の看護職の職能団体です。職能団体の役割は、プロとしてのスキルアップをサポートすること、専門職の労働環境をよりよくすること。様々な場で活躍する看護職のみなさんが、活動しやすくなるように支援するのが、わたしたち看護協会です。

Q 新潟県看護協会ってなあに？

A 日本看護協会との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根差した専門性に基づき、看護の質の向上を図るとともに安心して働き続けられる環境づくりを推進しています。あわせて県民のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康な生活の実現に寄与することを目的としています。

BOOK

2024.1~2024.7 新刊図書

1	看護法令要覧 令和6年版 編集：勝又浜子・加藤典子・清水嘉与子・田母神裕美/日本看護協会出版会
2	認知症ケアと日常倫理 実践事例と当事者の声に学ぶ 鶴若真理・那須真弓 編/日本看護協会出版会
3	The 外来看護 第2版 数間恵子 編著/日本看護協会出版会
4	訪問看護ステーションの経営管理 渡邊尚之 著/日本看護協会出版会
5	医療安全を推進するTeamSTEPPS 実践事例 チームが成長する7つのツール 東京慈恵会医科大学附属病院看護部・医療安全管理部 編著/日本看護協会出版会
6	新人・後輩のアセスメント力を育む指導 看護師の思考を刺激するOJT 阿部幸恵 編著/日本看護協会出版会
7	看護に活かす 基準・指針・ガイドライン集 2023 公益社団法人日本看護協会 編/日本看護協会出版会
8	糖尿病看護 フットケア技術 第4版 日本糖尿病教育・看護学会 編集/日本看護協会出版会
9	LGBTQ+ 医療現場での実践 Q&A 編集 武田裕子・吉田絵里子・宮田瑠珂/日本看護協会出版会

かんごちゃん LINEスタンプの発売について



<https://line.me/S/sticker/26269087>

「看護の日」キャラクターかんごちゃんのLINEスタンプ(お仕事編)の販売を開始いたしました。LINEスタンプは40種類で販売価格は120円です。※LINEスタンプの検索画面で「日本看護協会」と入力してください。



編集にあたり皆様方に多くのご協力を頂きまして、大変ありがとうございました。6月から新しい委員が2名加わりました。会員の皆様に興味を持っていただけるような情報をお届けできるよう委員一同精進してまいります。よろしく願いいたします。

広報委員会：佐野/本間/松宮/佐藤/渡辺/片野/古泉/小林